

ネイチャーセンター ガイド (117)

番長のおすすめ！50メートルすべり台

今、宝の山ふれあいの里でのおすすめスポットは、森のサテライトだ。ネイチャーセンターから歩いて20分。もちろん歩いていく。何でかって？体力をつけるため。それだけ・・・。

ムササビタワーには観察小屋があるがムササビがいないと、オープン当初から言われてきたが、いないものはいないのだ。迷いムササビを譲り受け、放してみたが居座ってくれない。これがムササビからの答えなのだ。住みにくいならば、住みやすくすればいいと、植樹や前号に記したように手を入れてみた。しかし、この森にムササビがいなかったことが判明したのだ。正直ショック。

しかしながら、野生の動物が活動するのは夜。それまでにしておくことがある。山で遊び、山を体で感じるのだ。遊具なんて要らない。斜面があるから滑ってみればいいのだ。滑りながら、どうしたらスピードが出るのか、どうしたら止まることができるのかを考えればいい。うまい人がいたら、真似をしてみたり聞けばいいのだ。いたって単純である。単純であるから頭も使うし、登らなければならないから体力も使う。結果、腹が減るのだ。ここまで単純だから素直におもしろい。

「すべり台があるから行ってみな」なんて言えば、どこ？どこ？と聞いてくる。行ってみるとどこにも見当たらない。それもそのはず、作ってないからね。山の傾斜を利用して、道を選択しながら、靴底もしくはお尻で滑ってくるのさ。その距離、なんと50m。滑ってくるということ

は、登らなければならない。途中、挫折したい気持ちで登る子もいれば、スイスイと登って子、恥ずかしそうに「女の子を助けてやれよ」と声をかける子など、何ともほのぼのした時間である。

息を切らしながら登る山。何でこんなことをしなければならないの？という表情で眉間にしわをよせ、必死に登る子どもたち。理由なんてない、楽しいのだ。危険と隣り合わせなスリルが、たまらない。

登りきり、振り返れば登ってきた自分たちの軌跡を目の当たりにし、傾斜のきつさに驚く。四つんばいにならなければ登れない斜面。赤ちゃんだったころを思い出すか、出さないかは別として「こんなところ・・・滑るの」とビビっていることを察知しながら、先頭を滑り落ちる。一瞬にして、登りの疲れを忘れる。服が汚れることを忘れる。足の擦り傷もどこ吹く風。ここからは、ご想像にお任せします。

登る途中、一番文句を言っていた子が「もう1回行こうよ」とだだをこねる。迷い無く四つんばいで登り始める。1回目より2回目、2回目より3回目。体で感じれば、回数を増すごとに子どもたちは、自ら感じとり、小さな成長を繰り返していくのだ。

学力を高める前に、学力に集中できる体力と心の成長を。これが基礎となります。だから、体験をするんですよ。ただこなすだけの体験はしたくない。しっかりとした基礎をつくる体験をサポートしていきたいと思えます。

連絡・問合せ先 ☎(45)6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日、祝日の翌日

広告を掲載しませんか？

■広報つる

掲載場所

裏表紙(カラー)の最下段(2枠)

2色刷りページの最下段(2枠)

掲載規格(1枠) 縦5cm×横9cm

掲載料

裏表紙(カラー) 1枠 20,000円

2色刷りページ 1枠 10,000円

掲載期間 2カ月

■都留市ホームページ(バナー広告)

広告枠数 最大8枠

掲載規格(1枠)

天地60ピクセル 左右150ピクセル

4キロバイト以内 GIF89A形式

掲載料 1カ月 5,000円

掲載期間 1カ月単位とし、連続する場合最大12カ月。

■共通事項

募集締切 掲載しようとする月の初日の1カ月前までに。

申込方法 都留市広告掲載申込書に掲載しようとする広告の原稿を添えてお

申し込みください。申込書は総務課、

政策形成課に備えてあります。また市

ホームページからもダウンロードする

ことができます。

広告の内容 市民生活に関連したものと

します。詳しくは、お問い合わせくだ

さい。

問合せ先

「広報つる」 総務課秘書広報担当

「ホームページ」

政策形成課 情報システム担当